

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	昭島ドリーム保育園
施設所在地	昭島市
法人名	一般社団ドリーム

1. 活動のテーマ

<テーマ>

音

<テーマの設定理由>

園の特色として4月より『リトミック』を行っている。
音楽に合わせて動く経験をし、思い通りに身体を動かす楽しさを味わい、色々な動きに挑戦したり、音楽を聞き身体を使って自分の思いを表現している。
その経験から、音への興味関心を広げ、音を楽しんだり、音を聞いて自ら表現する喜びを味わう事を目的とした。

2. 活動スケジュール

令和7年9月～令和8年3月まで 概ね月1回活動している。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

太鼓、太鼓のバチ

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ①散歩に出かける前に太鼓を見せて太鼓を作ろうか・・・と誘う。
- ②太鼓のバチになりそうな木のバチを見つけに行こう。と散歩に出かける。
- ③散歩先で保育者が、木の棒を拾って色々な物を叩いてみる。
- ④子どもたちも、好きな木の棒などを見つけて叩いてみる。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- ・高月齢の子は保育士の話をすぐに理解して、木の棒を見つけ保育士と同じ様に叩いて音を聞いていた。
- ・高月齢の子は話を連想させて、『じゃあ、手を叩くとどんな音がする？』と音について考えたり、興味を持って参加していた。
- ・その後のごっこ遊びの中で、お料理などに木の棒を使って、『グルグル』『混ぜ混ぜ』と料理を作り、その棒で近くのすべり台の支柱を叩いて、『ご飯ですよー。』と呼んでいた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・低月齢の子や外国籍の子は音への興味より、公園の遊具に目が行き、遊びたい気持ちがあったため、早々に砂場の道具を出して遊んだが、もう少し興味を持てるような言葉をかけて、誘い掛けても良かったかと思う。

木の棒を拾って太鼓を作ろうと話すと、楽しみにして『キラキラの太鼓』『虹色の太鼓』木で作る！！と、それぞれの太鼓のイメージを膨らませていた。